こんにちは**ナーシングなごみ**

理学療法士　吉田です。

前回のブログでは訪問看護の現場第一弾として「訪問看護での苦労や難しさ」をテーマに掲載させて頂きました。

今回は、第二弾として、業務でのやりがいやほっこりと心が温まるエピソードというテーマでスタッフより聴取しています。

忙しさの中でも『ほっこり・癒し・喜び』がたくさんあります。

利用者様やご家族との関わりを通しての現場ならではの声を是非ご覧ください。

第二弾
やりがいを感じたことなど ほっこりエピソード

1 難しいと思うことが適切に出来た時

2 利用者さまから「ありがとう」などの感謝の言葉を頂いた時

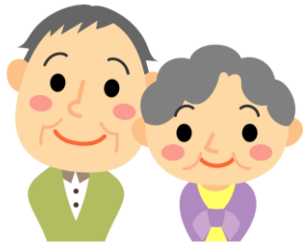
どんなに忙しくても、「ありがとう」の一言を頂くと、一気に疲れが吹き飛ぶようです。

3 高齢の利用者様に励まされる嬉しさ

ちょうど100歳になられた利用者様に、逆に「忙しくて大変だなぁ」「無理しないでな」と私達を心配してくださる言葉をいただきました。

4 お互いに楽しい時間を過ごし笑いあえた時

普段は無口な利用者様が元気だった頃の話を笑顔交じりに教えてくださったこと。



利用者様から昔話や世間話など自分が知らないことをお聞きしたりし、利用者様から「楽しかった～！」との言葉を頂きました。

100歳になる男性の利用者様です。私たちが生まれる前の米沢の歴史や、お祭りの由来また、それらに関連したことわざの成り立ちまで…いつも時間を忘れ興味深く聞かせて頂きます。

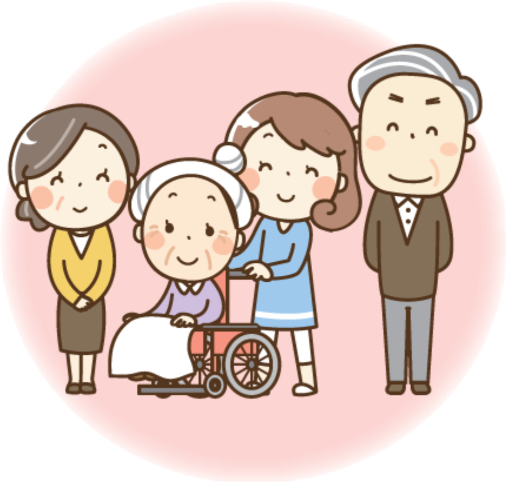
利用者さんが、働いていたころのお話をお聞きしました。本業以外にも講演会の依頼も多かったとのこと。私自身も講師の経験はあるが、「大の苦手」とお伝えすると、人に何かを教える・伝える時のコツを教えてくださいました。

5 リハビリを実施して、QOL(生活の質)向上に繋がったとき

「御家族と外出や外食ができた」など、できる動作が増えたことの報告を受けた時には利用者様の喜び以上に私たちも嬉しくなってしまいます。

6 利用者様・ご家族の心遣い

咳をしたり、疲れているように見えると「無理しないで」「たまには休んで」などと声を掛けてくださいました。



夏場・冬場に関わらず、空調を私達に合わせてくださいました。

冬場に玄関に置いたはずの防寒着を部屋に入れて温めておいてくださいました。

提供終了の時間に合わせて、車の雪をはらってくださいました。

訪問業務では、看護やリハビリを提供するだけではなくたくさんの利用者様やそのご家族との出会いがあります。そのなかで様々な人生勉強をさせて頂く機会もあり、人と人との関わりの大切さを改めて感じております。
先日、利用者様と屋外歩行をしました。歩きながら、花の名前や植物の特徴などを教えてもらいました。

それまでは、あまり興味が無かった私も、お陰様で、
少しずつ分かるようになってきました。

車での移動の途中でも
「こんな場所にも、この前教えて
もらった花が咲いている！」と自然に目に入って
くるようになりました。

次回、第三弾は、
『健康のために
心掛けていること・習慣』
について掲載予定です

最後までご覧いただき
ありがとうございました